【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509573(P2005-509573A)
【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)
【年通号数】公開・登録公報2005-015
【出願番号】特願2003-545558(P2003-545558)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　75/54　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　75/66　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　85/10　(2006.01)
Ａ２４Ｆ　15/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　75/54
Ｂ６５Ｄ　75/66
Ｂ６５Ｄ　85/10
Ａ２４Ｆ　15/12

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月30日(2005.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ラッピングフィルム（２）により少なくとも一つの包装体（１）の周りに形成されたラッピングであって、この包装体（１）が受け面と呼ばれる少なくとも一つの面（１０）を持ち、この面に対してクーポン（３）が二つの対向外面（３０，３１）を持って置かれ、これらの外面が：
－　包装体（１）の受け面（１０）に対して置かれる第一外面（３０）、及び
－　内面（２０）と呼ばれるフィルム（２）の表面に対して付着される第二外面（３１）、
であり、このフィルム（２）はそれ自身包装体（１）に向けて折り返されており、
ラッピングフィルム（２）の開封が、フィルム（２）を二つの部分、すなわち第一部分（２００）と第二部分（２０１）、に分離し、かつ引き裂き前にはクーポン（３）とフィルム（２）との間に配置されて位置する開封帯（２１）により達成されるものにおいて、
前記フィルム（２）の開封帯（２１）による開封後に、前記クーポン（３）がフィルム（２）の前記第一部分（２００）、フィルム（２）の第二部分（２０１）及び前記フィルム（２）の開封帯（２１）のどれか一つに少なくとも部分的に付着されたまま残るような方式でクーポン（３）がフィルム（２）の内面（２０）に対して局所的に固定されていることを特徴とするラッピング。
【請求項２】
ラッピングフィルム（２）により少なくとも一つの包装体（１）の周りに形成されたラッピングであって、この包装体（１）が受け面と呼ばれる少なくとも一つの面（１０）を持ち、この面に対して折りたたまれたクーポン（３）が二つの対向外面（３０，３１）を持って置かれ、これらの外面が：
－　包装体（１）の受け面（１０）に対して置かれる第一外面（３０）、及び

－　内面（２０）と呼ばれるフィルム（２）の表面に対して付着される第二外面（３１）、
であり、このフィルム（２）はそれ自身包装体（１）に向けて折り返されており、
ラッピングフィルム（２）の開封が、フィルム（２）を二つの部分、すなわち第一部分（２００）と第二部分（２０１）、に分離し、かつ引き裂き前にはクーポン（３）とフィルム（２）との間に配置されて位置する開封帯（２１）により達成されるものにおいて、
前記フィルム（２）の開封帯（２１）による開封後に、前記クーポン（３）がフィルム（２）の前記第一部分（２００）、フィルム（２）の第二部分（２０１）及び前記フィルム（２）の開封帯（２１）のどれか一つに少なくとも部分的に付着されたまま残るような方式でクーポン（３）がフィルム（２）の内面（２０）に対して局所的に固定されていることを特徴とするラッピング。
【請求項３】
クーポン（３）が接着剤の点、接着剤の線、溶接点、溶接線、クリンプ加工を含む手段の群から選ばれた局所的付着（２２）の少なくとも一つの第一手段によりフィルム（２）の内面（２０）に対して局所的に固定され、局所的付着（２２）のこの手段の機械的抵抗がクーポン（３）をラッピングフィルム（２）から前記クーポン（３）を破壊することなく分離することができるように調整されていることを特徴とする請求項１または２に記載のラッピング。
【請求項４】
開封帯（２１）がフィルム（２）を二つの部分、すなわちフィルム（２）の開封後に包装体（１）の第一部分（１００）から分離される第一部分（２００）と前記フィルム（２）の開封後に包装体の第二部分（１０１）の上に残る第二部分（２０１）、に分離するものにおいて、前記フィルム（２）の開封帯（２１）による開封後に、前記クーポン（３）が前記フィルム（２）の前記第一及び第二部分（２００，２０１）の一つに付着したまま残るような方式でクーポン（３）がフィルム（２）の内面（２０）に対して局所的に固定されていることを特徴とする請求項１から３のいずれか一つに記載のラッピング。
【請求項５】
開封帯（２１）がフィルム（２）を二つの部分、すなわちフィルム（２）の開封後に包装体（１）の第一部分（１００）から分離される第一部分（２００）と前記フィルム（２）の開封後に包装体の第二部分（１０１）の上に残る第二部分（２０１）、に分離するものにおいて、前記フィルム（２）の開封帯（２１）による開封後に、前記包装体（１）が備えている蓋（１０２）の変位により包装体（１）の内容物への接近を可能とするように包装体（１）から分離されねばならない前記フィルム（２）の第一部分（２００）に前記クーポン（３）が付着したまま残るような方式でクーポン（３）がフィルム（２）の内面（２０）に対して局所的に固定されていることを特徴とする請求項１から３のいずれか一つに記載のラッピング。
【請求項６】
開封帯（２１）がフィルム（２）を二つの部分、すなわちフィルム（２）の開封後に包装体（１）の第一部分（１００）から分離される第一部分（２００）と前記フィルム（２）の開封後に包装体の第二部分（１０１）の上に残る第二部分（２０１）、に分離するものにおいて、前記フィルム（２）の開封帯（２１）による開封後に、前記クーポン（３）が前記フィルム（２）の前記開封帯（２１）に付着したまま残るような方式でクーポン（３）がフィルム（２）の内面（２０）に対して局所的に固定されていることを特徴とする請求項１から３のいずれか一つに記載のラッピング。
【請求項７】
第一区分（３４）及び第二区分（３５）と呼ばれる二つの対向した区分（３４，３５）を含み、これらのうち第一区分（３４）はフィルム（２）の内面（２０）に対して位置されることを意図しており、第二区分（３５）は包装体（１）の受け面（１０）に対して位置されることを意図しているものを含むクーポン（３）を持つものにおいて：
－　クーポン（３）の前記第一区分（３４）が第一区分（３４）を第一帯域(３４０)及

び第二帯域（３４１）と呼ばれる二つの帯域（３４０，３４１）に分離するように位置された少なくとも一つの弱化抵抗部（３６）の線を備えており、
－　クーポン（３）の前記第一区分（３４）がフィルム（２）の開封帯（２１）による開封がクーポン３の開放を起こし、クーポン（３）のこの第一区分（３４）の第一と第二帯域（３４０，３４１）の少なくとも一つ（３４０）が包装体（１）の受け面（１０）と前記フィルム（２）の前記第一と第二部分（２００，２０１）の一つとの間に挟まれたまま残るような方式でフィルム（２）の内面（２０）に対して固定されている、
ことを特徴とする請求項１から６のいずれか一つに記載のラッピング。
【請求項８】
クーポン（３）の弱化抵抗部（３６）の線がフィルム（２）の開封帯（２１）に実質的に平行に配向され、フィルム（２）及びクーポン（３）の同時開封及び開放を確実とするような方式でこの開封帯（２１）から予め決められた距離に位置させられていることを特徴とする請求項７に記載のラッピング。
【請求項９】
開封帯（２１）が前記クーポン（３）の弱化抵抗部（３６）の線上に実質的に重なるような方式でクーポン（３）がフィルム（２）の内面（２０）に対して配置され、前記クーポン（３）がフィルム（２）の前記内面（２０）に
－　一方では少なくとも前記開封帯（２１）と前記弱化抵抗部（３６）の線とが重なる場所で、及び
－　他方では少なくとも一つの他の離れた場所で、
固定され、この固定がフィルム（２）の開封帯（２１）による開封がクーポン（３）の開放を起こし、前記フィルム（２）の開封後に、クーポン（３）の前記第一及び第二帯域（３４０，３４１）の少なくとも一つが包装体（１）の受け面（１０）と前記フィルム（２）の前記第一及び第二部分（２００，２０１）の一つとの間に挟まれたまま残るような方式であることを特徴とする請求項７に記載のラッピング。
【請求項１０】
請求項１から９のいずれか一つに記載のラッピングにより覆われた紙巻きたばこ包装体。